

2001・2002年度 北陸信越ブロックフォーラム



ブロックフォーラムを終えて

裏千家青年部北陸信越ブロック長 大 樋 年 雄

2001年度、2002年度にわたり、ブロックフォーラムとして北陸信越の各支部をブロック役員と二年間、実に10回にわたる公式訪問をさせていただきました。その間、各地の青年部とともに親支部との連体感を構築しながら、連絡会の強化、会員数の増加を目標として、新しい青年部のあり方を模索してまいりました。またブロック内29青年部から一人ずつの代表（35才以下の役員未経験者）によって構成された特別チームが参加する交流茶会を各フォーラムで催しました。

この間、親支部先生からの貴重な御意見を賜りながら、およその各地の状況をブロックとして把握することができたと思います。また連絡会がフォーラムを企画することで親支部やブロックとの密接な関係を築き上げることができました。そして、研修チームは互いが出会いを繰り返すことで、新しい友情が生まれ、それによって次世代の人材を見い出すこともできました。

2003年度、ブロックフォーラムは連絡会が主導をもって各県においての県会員大会となり、また研修チームはリーダーとなるべく研修を繰り返しています。ブロックはそれぞれの事業をサポートしていくという進化したものとなりました。また何より2003年度のブロック内の会員数は前年度を上回り、会員数増加を達成することができました。

ブロック役員や関係者には多くの時間的な拘束と疲労があったと思います。しかし、行動したことにおいて結果を得ることができたのは、今後の活動の大きな励みになることと思います。この連体感をもとに我々は裏千家茶道を通じて青年のありかたを今一度学び、次の時代のために活動していくことが大切です。私も皆様と同じ気持ちで活動していきたいと思えます。

長くも短くもあったブロックフォーラム。関係した方々すべてに敬意と感謝の言葉を贈りたいと思います。ありがとうございました。

開催日程

平成13年 6月9・10日	石川南支部	於/小松市公会堂、仙叟屋敷、フローラ
8月25・26日	新潟支部	於/ホテル新潟
9月22・23日	中越支部	於/長岡グランドホテル、川崎地区福祉センター
12月1・2日	富山支部	於/サンシップ富山、料亭海老亭、富山能楽堂
平成14年 5月25・26日	長野県支部	於/松本市美術館、天神、松本市勤労者福祉センター
6月15・16日	高岡支部	於/高岡商工ビル、高岡文化ホール
7月12・13日	佐渡支部	於/湖畔の宿 吉田家
8月31日・9月1日	福井支部	於/福井県国際交流会館、葵会館
9月28・29日	石川支部	於/石川県教育会館、金沢勤労者プラザ、ぴるぜん
10月26・27日	魚津支部	於/ホテルサンルート魚津、魚津高校記念館

開催要項

親支部との懇談会…総本部の指導のもと会員増強の協力依頼、連絡会の強化
青年部の現状を報告・青年部活動に対する協力依頼

司会 副ブロック長（各県担当）
参加メンバー ブロック長およびブロックスタッフ役員
親支部支部長・幹事長・副幹事長

次第

1. 開会（総合司会 担当副ブロック長）
2. 利休居士道歌唱和
3. ことばの唱和
4. 黙祷
5. 青年部綱領唱和
6. ブロック長挨拶
7. 支部長挨拶
8. 参加者紹介
9. 懇談会（司会 松下幹事長）
 - ①新青年部組織説明並びに現状報告（戸谷全国代表者会議副議長）
 - ②ブロックから会員拡大についてのお願（ブロック長）
 - ③親先生より質疑応答（新青年部全般について）
 - ④明日の茶会の趣旨説明とスケジュール報告（ブロック長）
 - ⑤その他
10. 親先生から一言
11. 閉会

茶会（ブロック主催）…全国大会のブロック席の再現、支部又は県単位の青年部の
連携強化、親支部先生方への活動アピール・会員増強のお願い

- チーフ 監事（研修、茶会担当）
参加メンバー ブロック長およびブロックスタッフ役員
連絡会代表（各地区）
部長 （各地区）
特別チーム（北陸、信越担当二分割） 合計約30名
茶会の対象 親先生 会員 登録会員 学生（学茶） 外国人（在住）
会 計 ブロック（会議費・通信費・茶会・旅費交通費）
当初必要な費用に関してはブロックより仮払い金を渡します
* 茶会の規模・参加人数は実施青年部と調整（会場の規模等を考慮して）
火の使用可能会場。案内状・茶券・礼状（懇談会礼状発送）はブロックで手配
会場・発送（案内状・茶券・礼状）・動員は実施青年部で手配

特別チーム…ブロックで活躍出来る人材の発掘、育成を目的として編成する
各青年部より次代を担うと思われる会員を推薦していただきチームを作る
（部長推薦、任期は一年）

- * 参加回数は、北陸地区年3回、信越地区年2回（交流茶会）
チーム登録者の都合がつかず欠席の場合は代理者の参加をお願いします
- * 対 象 35歳以下で役員を経験していない会員が望ましい
- * このチームに参加する事は、ブロック内に29名の同志を得ることになります
この様な力を個人の為に利用するのではなく、きちんと自分たちの青年部にフィードバック
出来る人材を選出に当たって良く注意して推薦して下さい
- * 旅費は普通旅客運賃の片道（最寄の駅より開催駅まで）・宿泊は1泊2000円補助します。
エリアを越えて参加する場合は、基本的には自己負担とします

タイムスケジュール

<1日目>

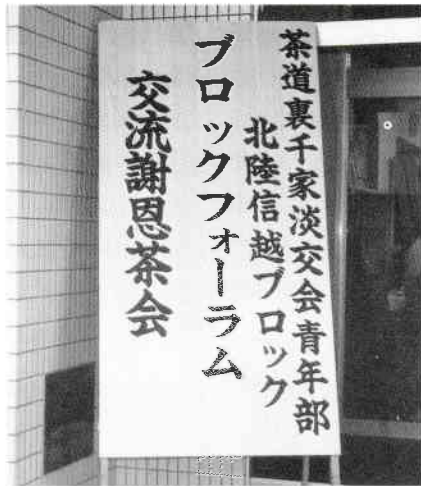
- | | |
|-------------|--|
| 14:00~16:00 | 懇談会（親支部との） |
| 16:00~17:00 | 茶会会場の下見 |
| 17:00~19:00 | チェックイン・夕食 |
| 19:00~21:00 | 四役研修・特別チームとの茶会打ち合わせ・研修
(四役研修の司会進行は連絡会代表が行う) |
| 21:00~ | 二次会 |

<2日目>

- | | |
|-------------|-----|
| 8:00~9:00 | 準備 |
| 9:00~15:00 | 茶会 |
| 15:00~17:00 | 片付け |

北陸信越ブロックフォーラム 運行マニュアル

	ブ ロ ッ ク	担当支部青年部
4ヶ月前	<p>開催要項(案)・予算書を検討・承認</p>	<p>開催日程 (決定済み) 会場決定 (研修会・懇談会・懇親会・茶会 宿泊等) 宿泊はシングル1泊5000円程度の ホテルを早めに仮押さえして下さい タイムスケジュール 確認 ↓ 開催要項(案)・予算書をブロックに提出</p>
3ヶ月前	<p>ブロック作成の挨拶文をメールにて 担当者に送る 懇談会出席予定者名簿フォーマットをメ ールにて担当者に送る</p> <p>挨拶文・出席者の確認、承認</p>	<p>ブロック作成の挨拶文確認と地元作成の 案内挨拶文を作成 懇談会出席予定者のお名前役職の確認 地元作成挨拶文と懇談会出席予定者を ブロックに提出</p>
2ヶ月前	<p>茶券作成、封筒を担当青年部に送る ブロックスタッフ・特別チームへの 出席案内</p>	<p>懇談会出席予定者に案内発送 各先生 社中 挨拶文・茶会案内発送</p>
1ヶ月前	<p>スタッフ・特別チーム出席確認、参加人 数を担当青年部に連絡 茶会参加者配布資料 (ブロック長挨拶 文・組織図) を担当青年部に送る 茶会参加予定人数でミニ短冊を作成</p>	<p>懇談会出席者 確認 茶会参加者人数 確認 懇談会出席者・茶会参加人数・席札枚数を ブロックに連絡 茶会参加者配布資料作成 (ブロック長挨拶 文・組織図)</p>
前日	<p>道具・お茶・お菓子・席札等確認 準備最終確認</p>	<p>茶席の準備 道具・お茶・お菓子・席札・配布資料等の 確認 準備最終確認 懇談会準備 (会場作り、席札並べ、お茶の 確認)</p>
当日	<p>当日 懇談会資料 (次第、資料、封筒) は ブロックにて人数分全て用意</p>	<p>当日 茶席の準備 受付・水屋のお手伝い 茶席の後片づけ</p>
後日	<p>行事報告書作成 特別会計収支計算書作成</p>	<p>お礼状 (懇談会・茶会) 内容をブロックに 確認の上発送</p>



石川南支部



新潟支部

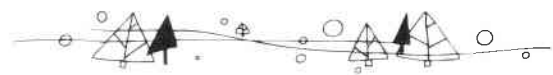


石川南支部加賀青年部 行 松 宏 展

特別チームに入ってくれないか？と言われ、特別チームの全体会議に出席しました。会う人、会う人が初めての方ばかりでとても緊張しましたが、いざグループミーティングになると、お互いに各青年部や自分個人の悩みを話したり、相談したりで一気に打ち解けてしまいました。会議が終わった後もみんな名残惜しくて、遅くまで私の家で話し込み、最後には特別チームメンバーで「キラキラ会」なるものを結成した次第です。

お茶を通じて初めて知り合った人間が、一日でこんなにも仲良くなってしまふなんて「お茶の力は偉大だ。」と感激いたしました。これからこの特別チームの一員として、いろいろな活動を通じてより良識ある近代人として成長し、各青年間で友情の輪を広めていきたいと思っています。

最後にこのような機会を与えて下さった、親先生方、青年部ブロック役員の方に感謝いたします。



ブロックの特別チームに選ばれて、日程が決まりどんなメンバーと会えるかワクワクしながら、新潟に来ました。朝準備が始まるとドキドキしてきました。徐々に緊張もほぐれ、和やかな雰囲気になってきました。お茶会が始まると当日の朝方まで打合せをしていた疲れを知らないブロック役員の方々や、青年の船に乗られた方々、部長さん達の『もの凄いパワー』に後押しされ、心地のよい緊張感の中でいられました。面白かったのは、皆さん素晴らしいキャラクターの持ち主で「ええ～」と言って感心する事が多かった。灰型が素晴らしいといい、灰を直す時に風炉の周りに集まって見たりしたことです。皆さんのあの『もの凄いパワー《情熱》』を貰い、私もパワーアップしてみんなに伝えられるようにしたいと思います。



中越支部



富山支部



長野支部



長野県支部 北信青年部 山城 久美子

まだ開館したばかりの松本市美術館にて、ブロックフォーラムが行われました。いよいよ地元ということで、いつもより緊張してしまいましたが、前日からの準備では、食事の時間も惜しんでの作業に、お茶会のすごさを感じました。そして、こういうすばらしい環境で、今までのフォーラムに参加させていただいたことに感謝の気持ちでいっぱいになりました。長野にたくさんの仲間が集まって、楽しいお茶会でした。またこういう機会（出会い）があるといいなと思います。

高岡支部 志貴野青年部 小泉 昇

茶会当日、1席目のお点前を担当することになり、その日は朝からとても緊張していました。いざ始まると、席主であるブロック長の軽快な会話のお陰か、徐々に力みもとれ無事終える事が出来ました。

特別チームというたいへん身になる経験をさせていただいた事に、心より感謝致します。



高岡支部



佐渡支部 おけさ青年部 渡辺 亮子
地元はやはり緊張しました。会員大会と同日という事で、特別チームメンバーの参加も多く、色々と交流が持てました。佐渡は遠い所です。でもこのチームに参加させていただき、お茶を通じてはとても近くに感じられました。皆さんが帰られた後、台風で海は大荒れでした。



佐渡支部



福井支部

福井支部 日野青年部 竹内 和代
一日目は全体会、分科会で青年部の組織について学び、二日目は好天の中、多くの方々をお迎えしたお茶会でした。地元なのに、かえって他の地区の時よりも緊張してしまいましたがこのフォーラムをきっかけに一人でも多くの仲間が増え、いろいろな感動をともにできたらと思いました。



石川支部

石川支部 七尾青年部 高柳 理子

このような大きな茶席に、準備の段階から携わったことで、いろいろと手順が学べ、やり甲斐もありました。連絡会席では、かぐや姫の趣向ということで、青竹を割った中にろうそくを灯していたのが素敵でした。

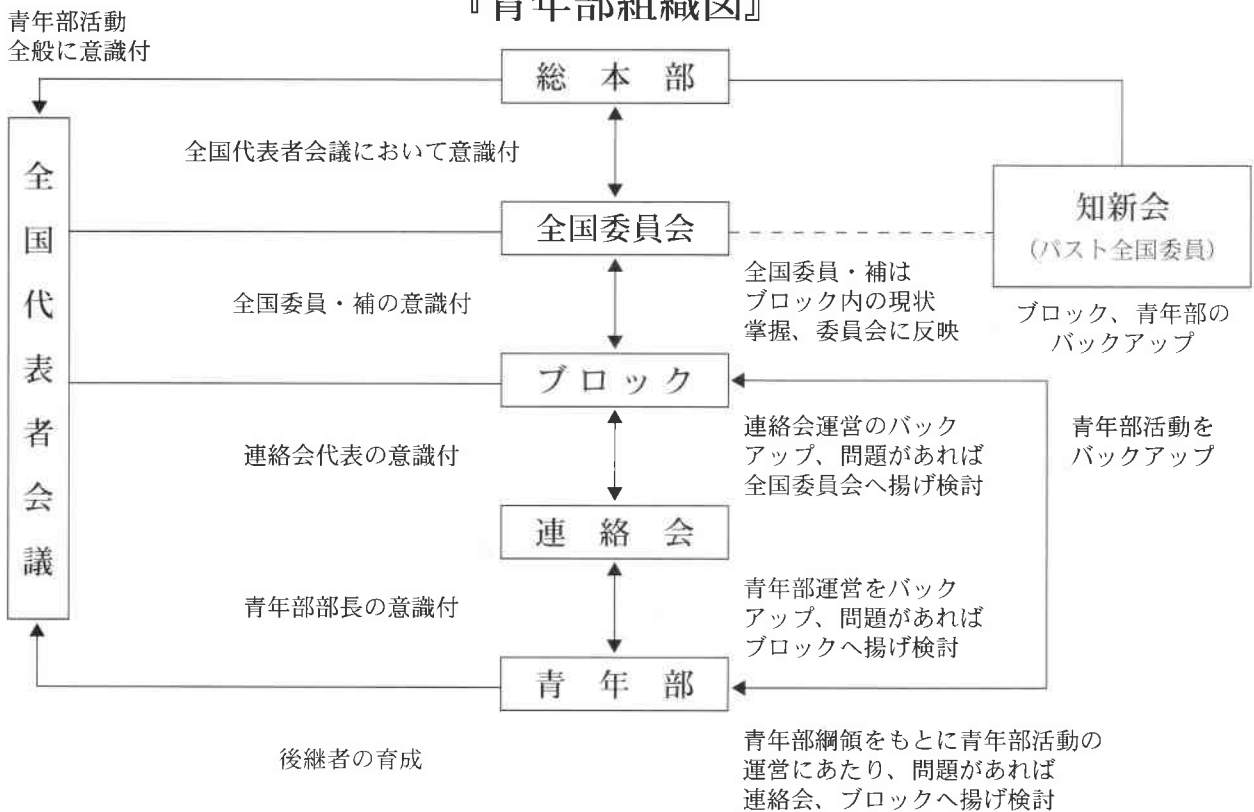
魚津支部 うおづ青年部 飛 恵子

地元魚津で開催されたフォーラムに、緊張感の中にも、自分自身も楽しみながら参加することが出来ました。また県内外の各支部青年部の方々との交流を通じて、刺激を受けることができ、大変意義深いものになりました。



魚津支部

『青年部組織図』



報 告 書

フォーラム全般

最初大樋ブロック長よりフォーラムの構想を聞いた時には、実施するにあたりあまりにブロックスタッフの負担が大きい事と、果たして忙しい大樋ブロック長が全地域を回れるのかと躊躇致しました。

しかし、提案の内容は実現出来れば大変素晴らしい事なので、スタッフ一同なんとか開催可能な方法を検討し協議会に提案することが出来ました。協議会では他にも要望が出たので、それらを取り入れる方向で開催が決定されました。

【目的】

フォーラムの目的は当初大きく分けて3つありました。

1つは一般の親先生方と淡交会員に青年部の実情を知って頂き、会員拡大のご協力をブロックよりお願いする事。

2つには現在の青年部に対する支部役員の方の忌憚りの無いご意見をお聞きし、今後の青年部活動に反映する事。

3つには各青年部にとって大きな課題である人材育成、特に今後の青年部を担って行く若い世代に青年部活動の意義を知ってもらう研修。この3本柱で開催することに成りました。

また2回目以降せつかくブロックスタッフが来られるなら委員長を含めた役員研修を開催して欲しいとの希望もあり、要請があれば役員研修も同時に行う事に致しました。

①の実現の為に、先生お社中の方を対象としたお茶会

②の実現の為に、親支部役員の方との懇談会

③の実現の為に、特別チームの結成

要望により、役員研修の実施

マニュアルを作りブロック協議会にかけ開催する事に決定致しました。しかしあくまで強制ではなく各支部の青年部で検討して頂き要請を受けて開催する事業と致しました。その結果9支部全部で開催となり、ブロックと各青年部とのコミュニケーションにも役立ちました。

お 茶 会

親先生やお社中の方を対象に、前回の青年部全国大会の大徳寺徳禅寺での呈茶席を再現するお茶会を開催することに決めました。また協議会の折お茶会の席中で先生方にブロックスタッフから会員拡大をアピールして欲しいとの要請がありました。本来茶席でお願いするものではないのですが大樋ブロック長と戸谷全国代表者会議副議長よりブロック組織・活動の説明と青年部の実情を訴え会員拡大のご協力をお願いする事に致しました。

主催はブロックですが会場の手配等、準備は地元青年部がしていただき、当日ブロックスタッフと特別チームが合流して開催する方法で実施いたしました。準備等をお願いすることによって支部または県単位の青年部の連携強化や親先生とのコミュニケーションに役立たせて頂きたいと考えました。

詳しくはマニュアルに記載されていますのでご参照下さい。

親支部との懇談会

親支部との懇談会を通して思ったことは、親支部の役員の先生方は青年部活動の内容の変化と会員数の減少にはひどく心配をされています。また、何かしなければと思っておられる様子ですが青年部が何をしているか判らない、誰に言ってよいか判らないようです。青年部から何も言っていないから判らないと言ったご意見も多く聞きました。

親支部の役員の先生方も支部運営に忙しく、青年部から自発的に話し合いを持って頂く様に働きかけなくては、親先生との懇談会を持つのは難しいようです。日常の挨拶や会話ではなく、きちんとお互いがテーブルについて青年部の事を話し合う必要があるでしょう。先生方もそういった青年部の姿勢を待っておられるように思います。

ブロックと先生方との懇談会はあくまでもきっかけであってそれで終わりというものではありません。今後とも各青年部が先生方と対話をしながら会員拡大と青年部活動にご協力ご理解を頂く必要があると思います。特に会員拡大においては先生の推薦は必要条件でありその効果は莫大であります。しかし、その後は青年部の責任です。活動内容が悪ければせっかく入って頂いた会員が次の年には退会してしまいます。先生から出して頂いた会員をどの様にしたら継続していけるのか、今一度活動内容など色んな角度から検討しなければならないと思います。ブロックも会員拡大の一つの方法として(仮称)社中代表制をまた、支部内青年部の活性化の方法として地域制を取っている支部には地域制の緩和を提案させて頂きました。

育成委員会も設置されていますが、まだ一度も開催されたことの無い支部もあると聞きます。お忙しい先生方から青年部のほうにコンタクトしてくることはなかなか難しいと思います。青年部の方からこの育成委員会をうまく活用するように連絡会を通じて働きかけて開催する様にしていかなければいけないと思います。せっかく親支部に起こった青年部育成の火を消す事なく、青年部活動の発展の為に役立てる必要があると思います。

特別チーム

青年部が抱えている課題の中に後継者育成があります。手の開いた青年部経験の豊かな先輩など上手にお願いして育成しているところもあるようですが、大半は事業の運営に追われてなかなか手をつけられないのが現状でしょう。

ブロックでも研修を開催していますが、場所的・時間的な都合でどうしても対象は四役までです。

もっと若い人、今まだ何も役についていない人を育てる為の研修は行われていませんでした。

今回のフォーラム開催と同時に若い世代の人材育成も行いたいとの大樋ブロック長の発案により特別チームを結成致しました。現在のブロックスタッフは旧青年部と新青年部の両方を経験していますが、会員の中には新青年部しか知らない人が増えてきています。それと同時に青年部を語り合う人たちが減ってきているように思われます。青年部活動を語る人がいるうちに若い人の人材育成をしなければならない、語り伝える物があってこそまた語り伝えられる人が居てこそ人材の育成が出来るのだらうと思います。

今回は研修の一環としてフォーラムに参加しながらの1年任期の研修だった為、十二分な時間が取れずもっとたくさん伝えることがあったのにと残念です。しかし研修チームの中から次期役員が大勢出られたと聞いて少しは意識付けのお役になったのだと喜んでいます。それにチームメンバーにはブロックスタッフとのホットラインをつくってあるので、青年部活動の疑問点や解決法を相談して頂けるものと信じています。

今後もこの様な人材育成を続けるとのことですので、じっくりと青年部活動の意義・基本理念を勉強していただき、これからの青年部のあり方をブロックスタッフと共に語り合っていただけようになって欲しいと思います。またブロックも若い世代の考えを取り入れて今後のブロック活動に反映していく必要があると思います。

役員研修

当初の3つの目的のほかに、青年部よりせつかくブロックスタッフが来るのなら、委員長まで含めた役員研修を開催して欲しいとの申し入れがあり、2回目以降希望により役員研修を実施することに致しました。

ブロックでも研修はしていますが委員長まで含めた研修は時間的・場所的・人数的に開催が困難です。ブロックから一方的に話をする研修ならどんなに人数が多くても可能ですが、今実施している研修のスタイルは全体会議と分科会、特に分科会でいろいろと会員（役員）と語り合いその青年部の問題点を把握し、青年部活動の意識付けをしていく方法を取っています。1チーム7～8人の分科会にブロックスタッフが1～2名ついて議論する方法では、現在のスタッフの人数では対応が難しいです。フォーラムのように各支部単位・連絡会単位で開催するのなら今後とも開催は可能だと思われます。

研修これは人材育成の上で必要不可欠なものです。特に現在の四役だけではなく、次に続く人（後継者）の研修は今後の青年部活動を活性化させる為にはとても必要なことです。きちんとした基礎研修は青年部活動に対する考え方をしっかりと身に付ける上で、また個々の資質アップの上で大切な研修です。それがしっかりととなされ経験豊富な先輩が現役をバックアップすれば、仲良し会に終わること無く、その青年部らしい独自の活動が出来る青年部に成ることでしょう。

しかし残念ながら各青年部において次代を担う人たちの研修がされていないのが現状です。時間的な問題・指導する人の問題など開催するには単位青年部ではなかなか実施できない状況にあり

ます。今後経験豊富な人材が卒業していくにつれ益々開催が困難になっていくと思われま

す。ブロックも上記の事を考え、来期も後継者育成（特に若い世代）のために研修チームを結成する予定です。また、連絡会（支部）単位で委員長を含めた役員研修の要請があれば、ブロックスタッフを派遣する予定です。

連絡会の強化

2年間かけて北陸信越ブロック内9支部を廻り終える事が出来たのも、開催にあたり準備をして頂いた各支部青年部の協力のお蔭と感謝しております。

しかしながら、支部単位の開催である為に複数青年部のある支部では連絡会により対応が遅いところもあり、改めて連絡会の強化の必要性を実感させられました。

この点は親支部との懇談会でも良く取り上げられた問題なのでもう少し詳しく説明させていただきます。複数青年部のある支部では1青年部から複数青年部に移行した際に、当初各青年部の取りまとめ指導をする連絡会が途中より現役部長の連絡調整機関に変更となった為、青年部に於いても親支部に於いても連絡会の位置付けが不透明になってしまいました。各青年部は独自に青年部内部向けの活動を始め支部全体で開催する事業は少なくなっていました。そのため親支部との関係も希薄になり親支部の先生にとっても部長が多くなって誰に話をしたら良いか判らないという意見もありました。

これは連絡会の機構が先生方にうまく伝わっていない為と思われま

す。青年部内に於いても連絡会の位置付けがしっかりと出来ていないところもありました。ブロックではフォーラムの開催にあたり先生方に青年部の組織を理解して頂く為に資料を配布し席中で説明を致しました。

先にも述べたとおり連絡会がしっかり機能しているところは親支部とのコミュニケーションもうまく取れていて全体のまとまりも良く対応も迅速ですし青年部全体のパワーもあります。日常は各々の青年部活動をし

ながら、大きな事業に対しては連絡会単位で集まって大きな力を出せる青年部であって欲しいとの思いがあります。

連絡会の強化の為にはきちんとした組織運営を理解すると共に連絡会代表とのコミュニケーションが必要に思います。当ブロックも大樋ブロック長が次期より連絡会代表を取り込んだ会議を開催することに致しました。今までのブロックスタッフ会議・ブロック協議会に加えてブロック役員会を規約に含めました。ブロックの運営としては会議が増えるということは時間的にも会費的にも負担が増えるわけですが、連絡会代表に代表としての意識を持ってもらう為また各青年部部長にも連絡会を通じてブロックとの一体感を持ってもらう為には必要なことだと思います。会員の意見や要望は各部長より連絡会代表へそして連絡会代表よりブロックへとより伝わりやすいシステムになりました。ぜひこのシステムを十二分に活用して更によりよい青年部活動に致したいと思っております。